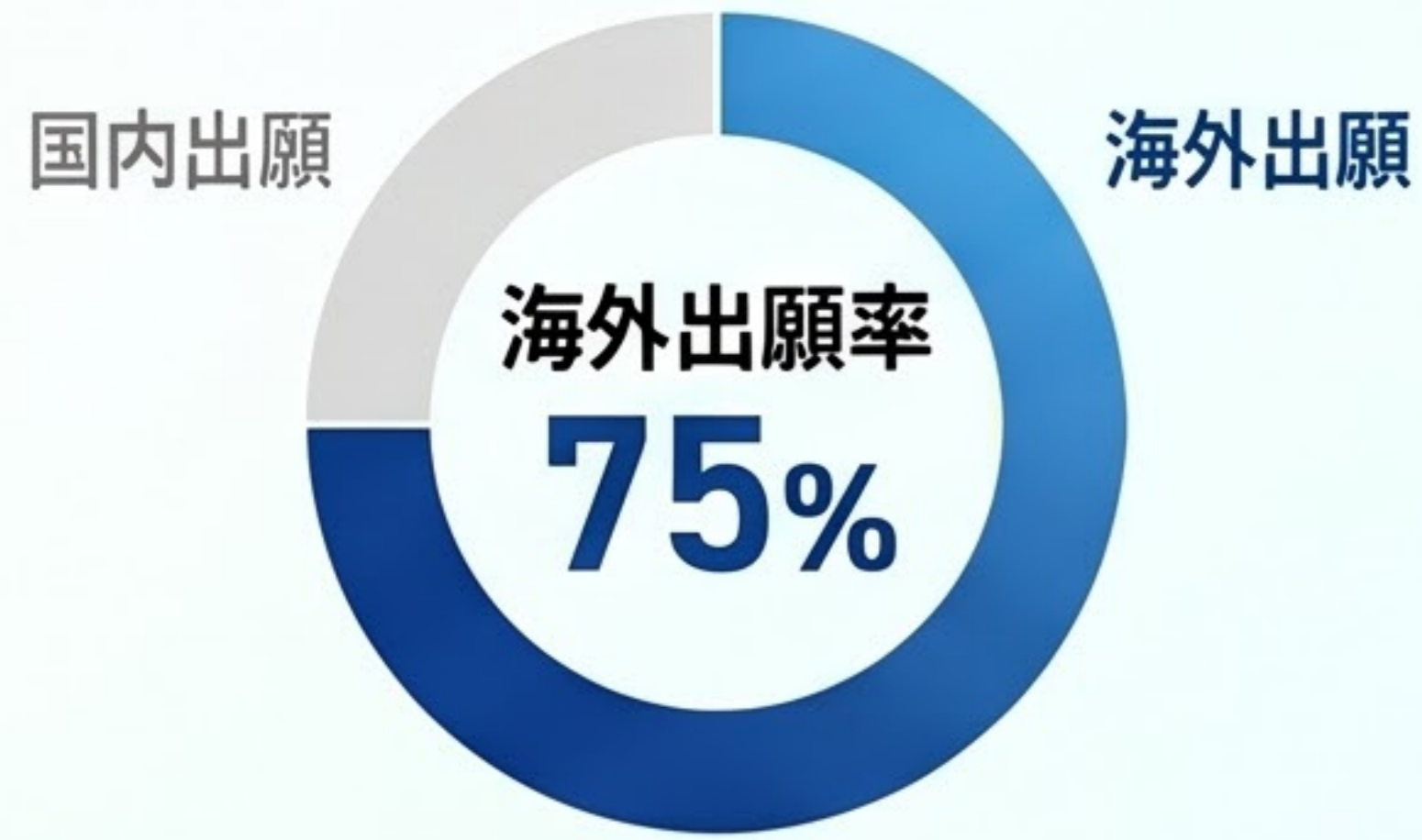


# 浜松ホトニクス：生成AIで加速する「次世代知財戦略」への転換

## グローバル事業の基盤としての知財



国内出願案件の約4分の3を海外でも権利化。多言語・多法域にまたがる高度な知財管理がグローバルサプライチェーンを守る「チョークポイント」となっている。

## 「戦略的インテリジェンス部門」への進化

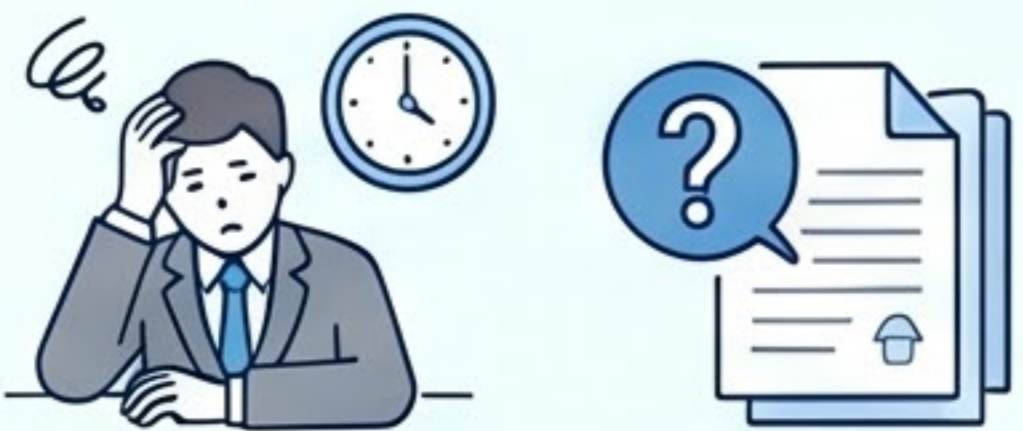


法務的後方支援

戦略的インテリジェンス部門

単なる法務的後方支援から、特許情報を活用して市場予測や競合分析を行い、企業の未来を章引する役割へと変貌。

## 現場主導の「課題解決アプローチ」



ペインポイント（課題）の特定

「どの業務に時間がかかっているか」という現場の切実な課題を起点とし、AIをピンポイントで適用する。



## 未来へのガバナンスと挑戦



AIガバナンスとセキュリティ

未公開発明を守るため、セキュアな関係網でのAI利用や秘匿化ルールの徹底、情報セキュリティポリシーの継続的更新が必要。



スキルシフト（リスクリング）

専門家には「AIから最適な回答を引き出す問い（プロンプト）の設計能力」と「出力の真履を見極める批判的思考」が求められる。



AIによる自律的発明の足音

WIPOでも議論される「AIサイエンティスト」の台頭を見据え、AIが生成したアイデアから真の事業価値を発掘する「目利き」の能力が次世代の武器となる。

## 【出願権利化】ドラフト作成支援

Before



従来の課題：  
定型文作成による  
高い認知負荷

After



生成AIによる解決：  
文書作成支援と反論  
ロジックの高速生成

発明資料の要約や拒絶理由への反論骨子作成をAIが支援。ゼロから文章を書く心理的負荷を軽減し、創造的業務に集中する。

## 【侵害予防調査（FTO）】自動スクリーニング

Before



従来の課題：  
膨大なノイズ文獻  
の目視確認

After



生成AIによる解決：  
AIによる一次フィルタ  
リングで大幅な省力化

数千件の他社特許から、明らかに無関係なものをAIが一次フィルターとして除外。人間はリスクの高い案件の精査に注力できる。

## 【知財情報分析】AI支援分析

Before



従来の課題：  
人手依存による  
分析スケールの限界

After



生成AIによる解決：  
データ駆動による迅速  
な技術トレンド予測

大量文献からの技術クラスタリングやホワイトスペース（未踏領域）の可視化を高速化し、データ駆動型の研究開発投資をナビゲートする。